

第94回新潟県中央メーデー メーデー宣言（案）

本日、私たちは第94回新潟県中央メーデーを開催した。労働者の地位や労働条件の向上、民主主義の発展や恒久平和を希求するメーデーの社会的意義は不変である。改めてメーデーの原点や意義を学び、多様な仲間がつながること団結することの重要性を共有するとともに、再び多くの仲間が結集することができたこの喜びを皆で分かち合おう。

この4月から改正労働基準法、育児・介護休業法など私たち働く人に関連する法が改正、施行された。誰もが健やかに安心して働き続けられるよう、真に働く者のための働き方改革を確実に遂行していかなければならない。そのためにも、有期・短時間・契約などで働く仲間の処遇改善、フリーランスをはじめとする曖昧な雇用の課題解決、適正な価格転嫁や持続的な賃上げを求め「人への投資」を促しこれまでの「底上げ・底支え」「格差是正」の流れを継続していこう。

長引くウイルス禍や急激な物価高騰は、私たちのくらしとりわけ立場の弱い人々に今なお大きな影響を与えている。子ども・子育て、医療・介護など、将来不安の払拭そして社会的セーフティネットの強化など、くらしをまもる取り組みを最優先に進めよう。

また、気候変動に伴う自然災害が頻発化・激甚化している。甚大な被害をもたらしたトルコ・シリアの大地震は記憶に新しいが、昨年8月3日に県内で発生した県北部豪雨災害の被害も大きくまだまだ復興途中である。これら災害の記憶を風化させることなく、被災地の復興・再生とその教訓を活かした防災・減災対策を進め支え合い・助け合いの社会をつくって行こう。

一方、国際社会に目を向ければ、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は1年を経過しても解決の糸口も見つからず、更なる長期化が懸念される。

さらに、ミャンマー軍事政権による市民弾圧などいまだに人類普遍の価値たる人権を脅かし、侵害し続ける国もある。今こそ私たちは平和・人権・環境・労働が守られる自由で民主的な世界の構築に向け、国際連帯を深めて行こう。

すべての働く仲間が安心して働きくらすために、ジェンダー平等の実現はもとより、多様な価値観・背景を持つさまざまな人たちとの対話を進め、持続可能でよりよい世界、誰一人取り残されることのない社会、笑顔あふれる未来をめざし、力を合わせ、ともに進もう。

以上、ここに宣言する。

2023年4月29日
第94回新潟県中央メーデー